



農業向けヒートポンプの ご紹介

2025年12月
ダイキン工業株式会社
低温事業本部



1. 農業の脱炭素化をめぐる市場背景

2020年10月、日本は「2050年カーボンニュートラル」を宣言

- 農林水産業での化石燃料ゼロ化は
グリーン成長戦略の最重要事項
- 燃油価格上昇は長期化の懸念
- 化石燃料からの脱却・転換が
前倒し～加速する可能性

脱炭素は世界の潮流
もはや取り組まざるを得ない！

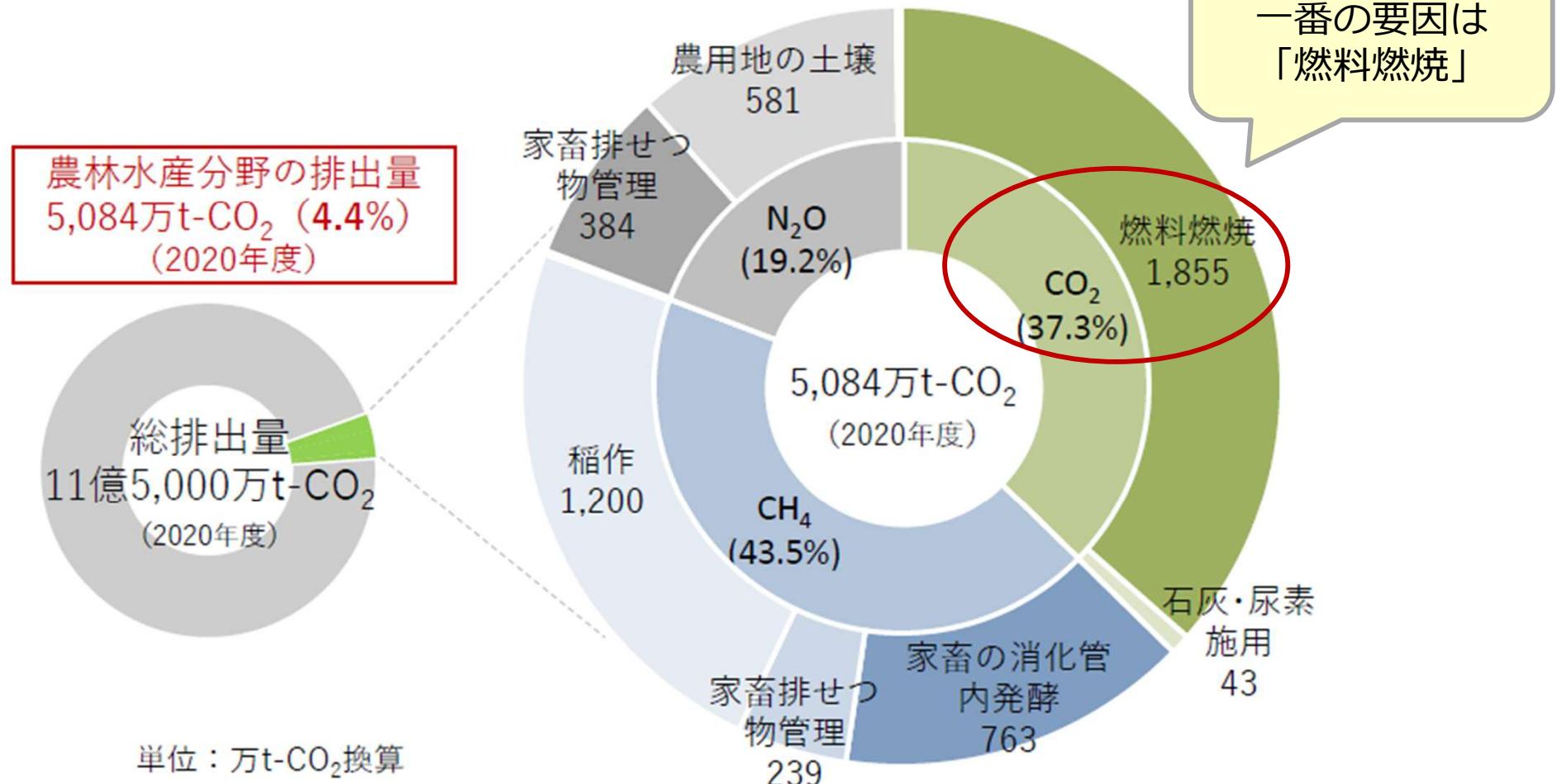


表) 国が掲げるカーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略抜粋

成長が期待される産業（14分野）*	
①洋上風力・太陽光・地熱産業 (次世代再生可能エネルギー)	洋上風力導入目標：2030年1,000万KW、 2040年3,000～4,500万KW 太陽光：2030年を目指し普及段階への移行
②水素・燃料アンモニア産業	水素導入量：2030年に最大300万㌧ 2050年に2,000万㌧程度 石炭火力へのアンモニア混焼の普及、安定供給
③次世代熱エネルギー産業	合成メタン等によるガスの脱炭素化
④原子力産業	国内での着実な再稼働の進展 海外の次世代革新炉開発へ参画
⑤自動車・蓄電池産業	2035年までに乗用車新車販売で電動車100%を実現
⑥半導体・情報通信産業	デジタル化によるエネルギー需要の効率化を推進
⑦船舶産業	2050年時目標：水素・アンモニア等の代替燃料への転換
⑧物流・人流・土木インフラ産業	CO ₂ 排出の少ない輸送システムの導入、輸送効率化
⑨食料・農林水産業	2050年時目標：農林水産業における化石燃料起源のCO ₂ ゼロエミッションを実現
⑩航空機産業	2035年以降の水素航空機の本格投入
⑪カーボンリサイクル・マテリアル産業	2030年までに石灰石からのCO ₂ 100%近く回収する技術を確立 高機能材料による次世代航空機軽量化等により2040年においてCO ₂ 92.8万㌧/年削減
⑫住宅・建築物産業/次世代電力マネジメント産業	2030年時目標：新築住宅/建築物のエネルギー収支実質ゼロ 高度な電力マネジメントの予測・運用・制御手法のビジネス活用
⑬資源循環関連産業	循環経済への移行を進め、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロ
⑭ライフスタイル関連産業	2050年までにカーボンニュートラルで、かつフレンドリーで快適な暮らしを実現

日本の温室効果ガス(GHG)排出量のうち4.4%が農林水産分野。
中でも燃料燃焼によるCO₂排出が最も多い

■ 日本の農林水産分野のGHG排出量



園芸施設

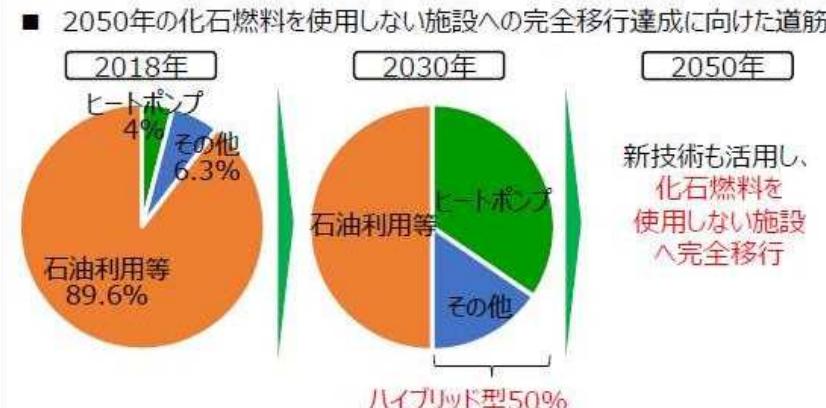
2050年までに化石燃料を使用しない施設への完全移行を目指す。

2030年目標の設定の考え方

- 地球温暖化対策計画（2021年10月閣議決定）における施設園芸の省エネルギー対策による2030年のCO₂排出削減見込量（155万t-CO₂）を踏まえ、化石燃料のみに依存しない施設（ハイブリッド型園芸施設等）の面積を推計し、中間目標を設定。
- 2030年までは、ヒートポンプと燃油暖房機のハイブリッド運転等、既存技術を活用したハイブリッド型園芸施設への転換を支援するとともに、この頃までに、高性能ヒートポンプや高効率蓄熱・移送技術など、ゼロエミッション型園芸施設の実現に向けた研究開発を進め、目標達成を目指す。
- 2030年以降は、新たに開発された技術の実証・普及により、2050年の意欲的な目標に向けて取組を加速していく。

現状と課題

- 園芸施設のうち加温設備のある施設の設置面積（2018年）は17,388haであり、その約9割（15,656ha）が重油等の化石燃料を主に使用。
- 2050年までに化石燃料を使用しない施設への完全移行に向けては、加温設備の転換を図っていく必要があるが、ヒートポンプ、木質バイオマス暖房機等の既存技術には、低温時の加温性能や導入コストなどの課題が存在。
- このため、これら課題を解決する技術開発を進めるとともに、CO₂排出量の削減に向け、施設園芸の省エネルギー対策を強力に推進していく必要。



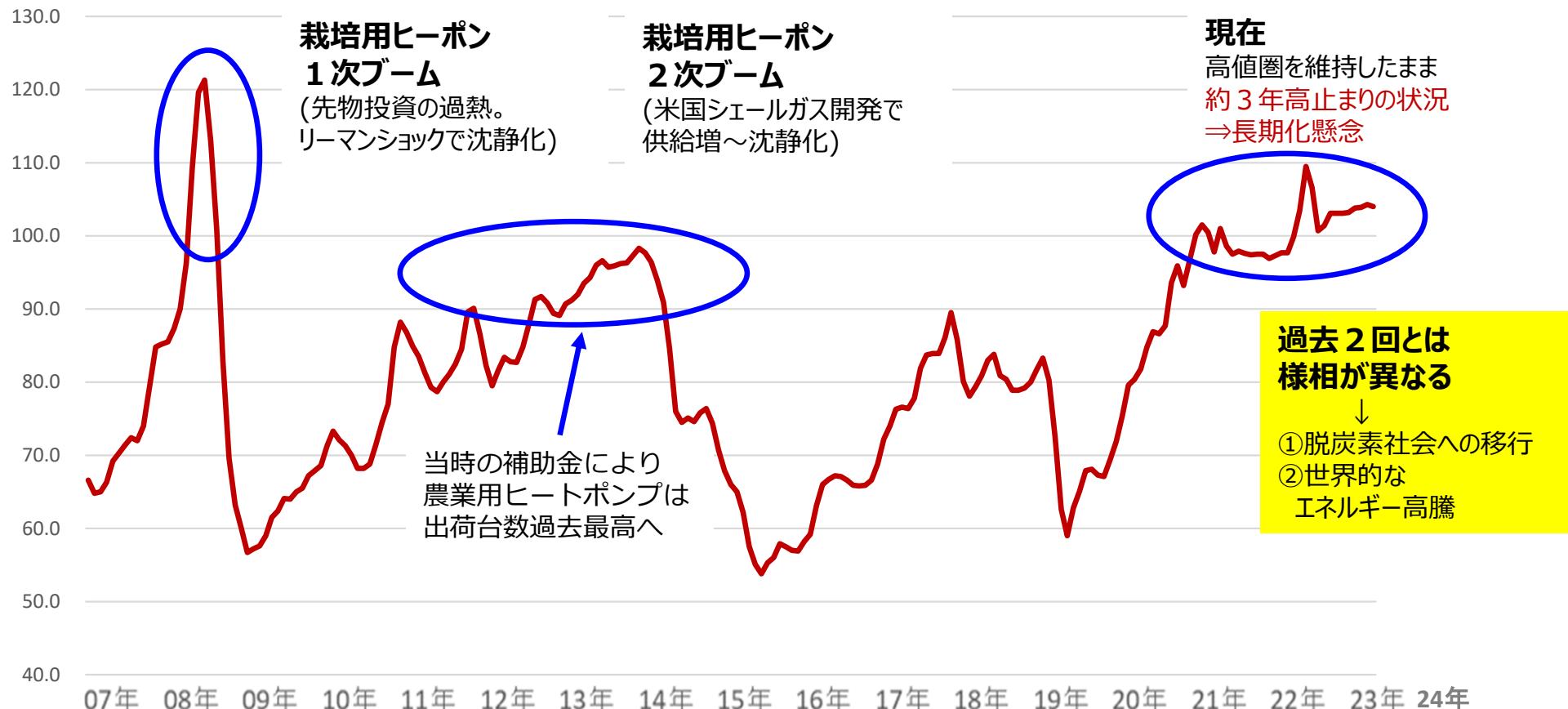
当面の対応

- 2030年に向けて、ヒートポンプと燃油暖房機のハイブリッド運転や環境センサ取得データを利用した適温管理による無駄の削減等、既存技術を活用したハイブリッド型園芸施設への転換を支援するとともに、ゼロエミッション型園芸施設の実現に向けた研究開発を推進。
- 令和4（2022）年度は、産地牛産基盤パワーアップ事業、強い農業づくり総合支援交付金等により、省エネ機器等の導入を支援するとともに、みどりの食料システム戦略推進交付金のうちSDGs対応型施設園芸確立により、モデル産地を育成し、今後のハイブリッド型園芸施設の導入拡大につなげる。



■ 重油価格が高騰するとヒートポンプの導入が進む

図①) A 重油価格推移(小型ローリー価格) 07年1月～24年7月時点



出典：資源エネルギー庁

https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/petroleum_and_lpgas/pl007/results.html#headline3

2. 施設園芸におけるヒートポンプ

- 1) 普及状況
- 2) 燃焼暖房とヒートポンプの特性
- 3) ハイブリッド運転がおすすめ

ヒートポンプはランニングコスト減・CO₂排出に大きく貢献。

PRODUCT



ハウス栽培専用ヒートポンプエアコン

- ・ヒートポンプはハウス栽培でも重油ボイラー暖房を補完する役割で過去から使用されています。
- ・ビニルハウス暖房は主に重油燃焼型加温機が使われています。
- ・ダクトにて温風をハウス内に供給し秋～春にかけて夜間暖房を行います。

※重油燃焼加温機



過去のヒートポンプ出荷台数は重油価格上昇と連動。
みどりの食料システム戦略推進により今後普及が進む見通し。

表1) 農業用ヒートポンプの業界出荷台数推移(2007~2018年)



出典：令和2年度ヒートポンプ普及見通し調査報告書(2020年8月)
(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター

表2) 2012年～2015年度

燃油高騰対策省エネ設備リース導入事業交付額

事業年度	交付額
H24及びH25年度	47億円
H26年度	46億円
H27年度	17億円
4年間計	110億円

(支援額：1/2以内)

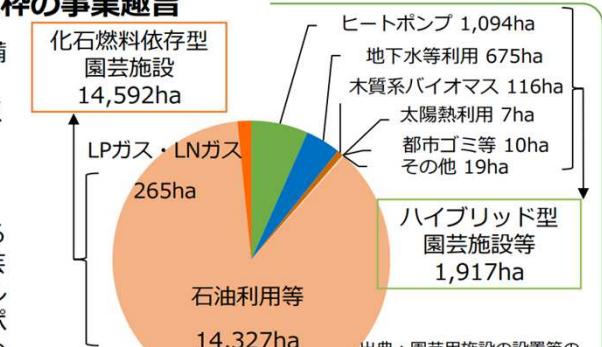
表3) 令和7(2025)年度 産地生産基盤パワーアップ事業
施設園芸エネルギー転換枠(20億円)

産地生産基盤パワーアップ事業 施設園芸エネルギー転換枠について (収益性向上対策(生産支援事業)の特別枠)

1. 施設園芸エネルギー転換枠の事業趣旨

- 現状、施設園芸の導入加温設備の多くは重油ボイラー（約9割）であり、燃油価格の影響を大きく受ける経営となっている。

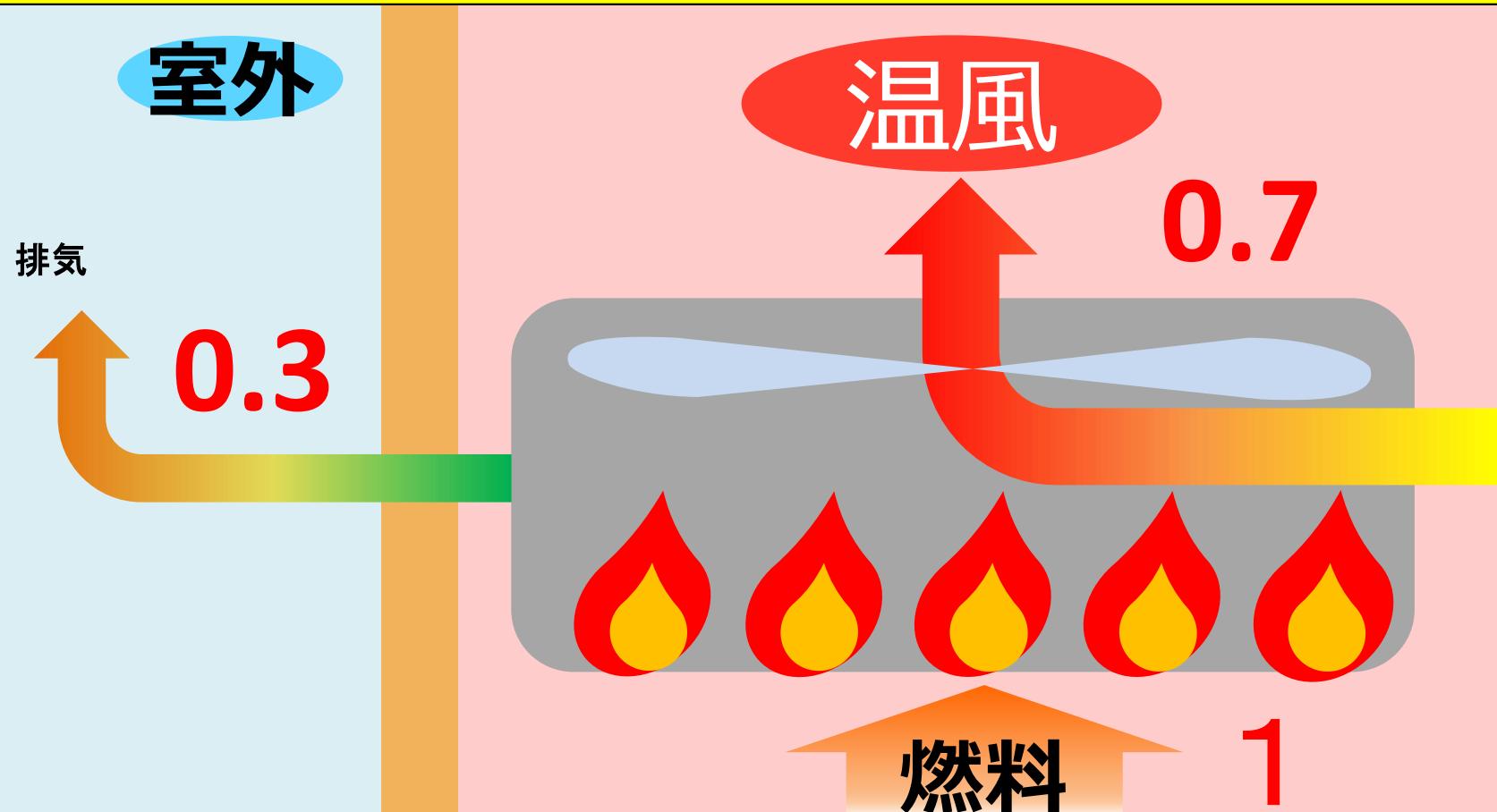
省エネ化と経営の安定化を図るため、加温設備を有する施設園芸産地を対象に、「施設園芸エネルギー転換枠」を設けて、ヒートポンプ等の省エネ機器や内部設備のリース導入等を支援する。



出典：農水省パンフレット

https://www.maff.go.jp/j/seisan/suisin/tuyoi_nougyou/sanchipu.html

燃焼暖房は一定の廃棄熱ロスが発生



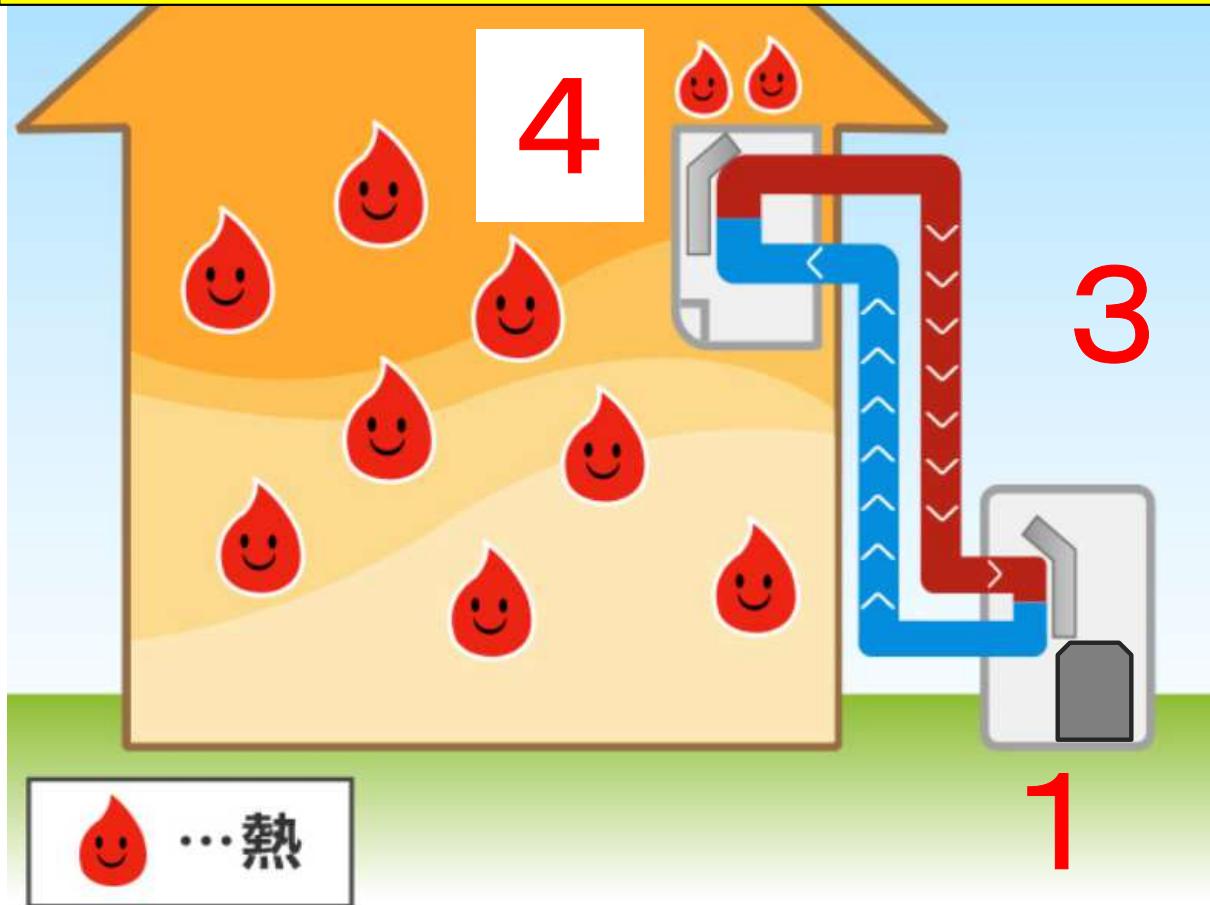
メリット

- ・即暖性が高い。
- ・外気温度の影響を受けにくい。

デメリット

- ・一定のエネルギーロスあり
- ・排気ガスが発生

ヒートポンプは1の電気で3~4倍の熱エネルギー取得が可能



1の電力



3の大気熱



4の
熱エネルギー

メリット

- ・熱効率が良く省エネ

デメリット

- ・外気温度の影響を受けやすい。
- ・温まるのに時間がかかる。

栽培ハウスにヒートポンプ導入で得られるメリット

1. ランニングコストの削減

- ハウス栽培用温風暖房機燃料の重油価格は不安定。突発的な上昇の懸念も
⇒重油価格変動リスクを低減

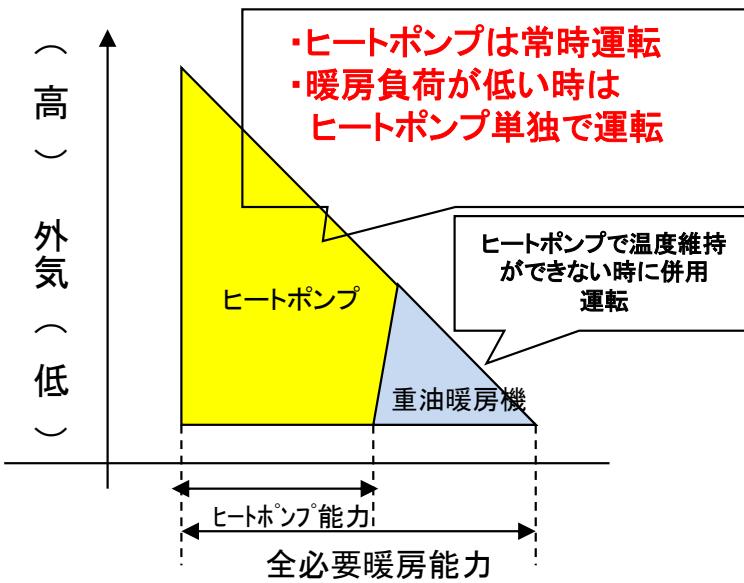
2. 夏場の夜冷使用で作物の品質・収益UP

- 夜間冷房による草勢向上。除湿効果によるカビ・病気予防
(バラ等の花卉、トマトなど)
- 近年の猛暑により夜間冷房のニーズが増加



ヒートポンプと既存重油暖房機を併用する「ハイブリッド」を推奨

<暖房併用システムのイメージ>



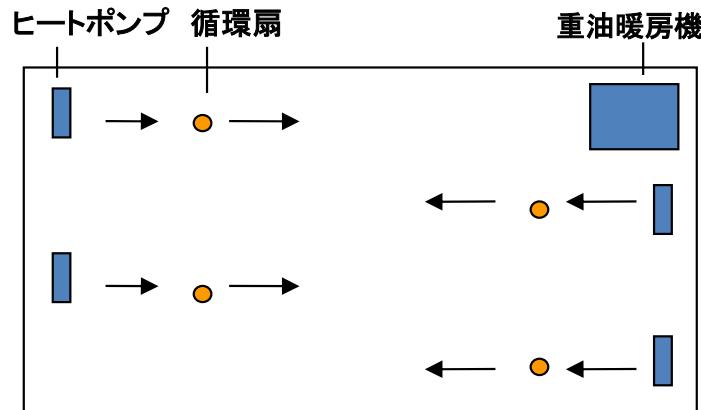
●ヒートポンプの特性

- ・外気が低くなるほど暖房能力が低下
- ・外気温が低くなるとデフロストに入りやすい

低温域まで全てをヒートポンプで暖房するのは
イニシャル・ランニングコストが共に大きくなりメリット小

➡ ヒートポンプ+重油暖房機併用の
「ハイブリッド運転」がおすすめ

<設置例>



循環扇



重油暖房機



3. 施設園芸にお使いいただける ヒートポンプ

ハウス栽培向けヒートポンプ



農業用ご利用いただける空調・冷凍機器を幅広くラインナップ

◆ハウス栽培に使えるヒートポンプ

	ハウス栽培専用ヒートポンプ(床置型)	中温用天井吊ダクト形	一体型
主用途	ハウス栽培用全般	洋ラン、花卉、野菜用、きのこ	いちご、きのこ
外観	5馬力 8馬力	 吹出自在ダクト(別売品) * 中温域(10~30℃)、かつ冷暖兼用可能なダクト型はオンリーワン 栽培用天吊ダクト オノリーワン	 中温床置 オノリーワン * 中温域(15℃)まで冷やせる 一体型(5HP)はオンリーワン
馬力	5・8馬力	3～10馬力	5馬力

◆床置型機種拡充について

2023年11月に新ラインアップをリリース

内容：床置型 5馬力機種の拡充

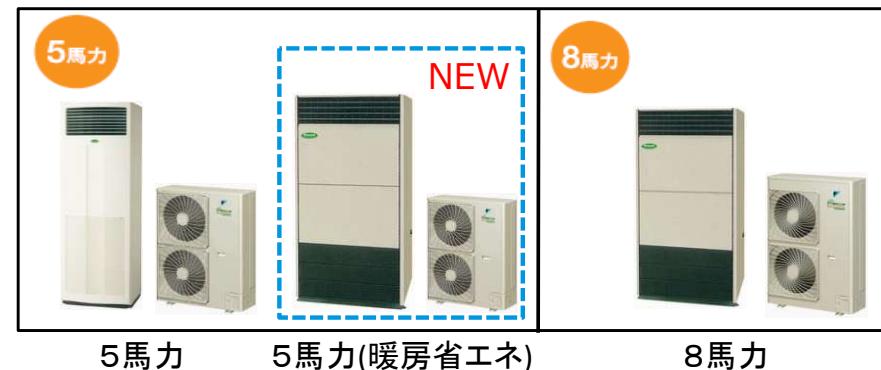
※現行の8馬力室内機 + 5馬力室外機を
セットにした**5馬力省エネモデル**

仕様：COP値（エネルギー消費効率）は
現行5馬力よりアップ

※50HZ地域 3.67⇒4.01

60HZ地域 3.65⇒3.91

当社栽培専用ヒートポンプ（床置型）は
現在3ラインアップ



1) 床置型（5・8馬力）

- 1) 低外気時の霜取り運転を最適化。安定した室温を実現
- 2) プリント基板を樹脂コートした高湿度対応（室内機）
- 3) スケジュールタイマ付リモコンで温度と運転時間を簡単管理
- 4) 霜付きを抑制する耐食性フィン採用（室外機）



5馬力



8馬力



幅広い品目の
施設園芸ハウスで
導入されています！

設定可能温度

暖房：10～27°C

冷房：15～30°C

デフロスト運転（霜取り運転）中は暖房しない

◇暖房運転

温風



冷風

室外機背面・
側面に着霜



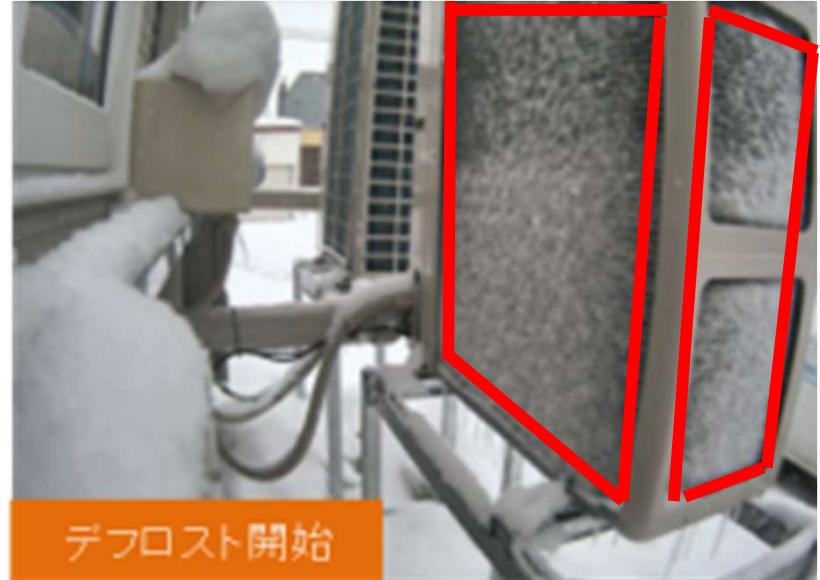
◇デフロスト運転

冷風
(微風)

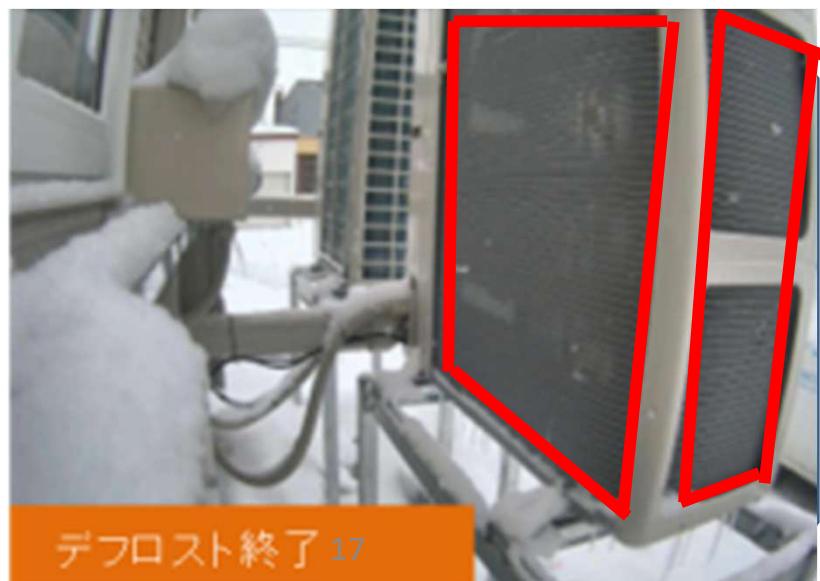


温風

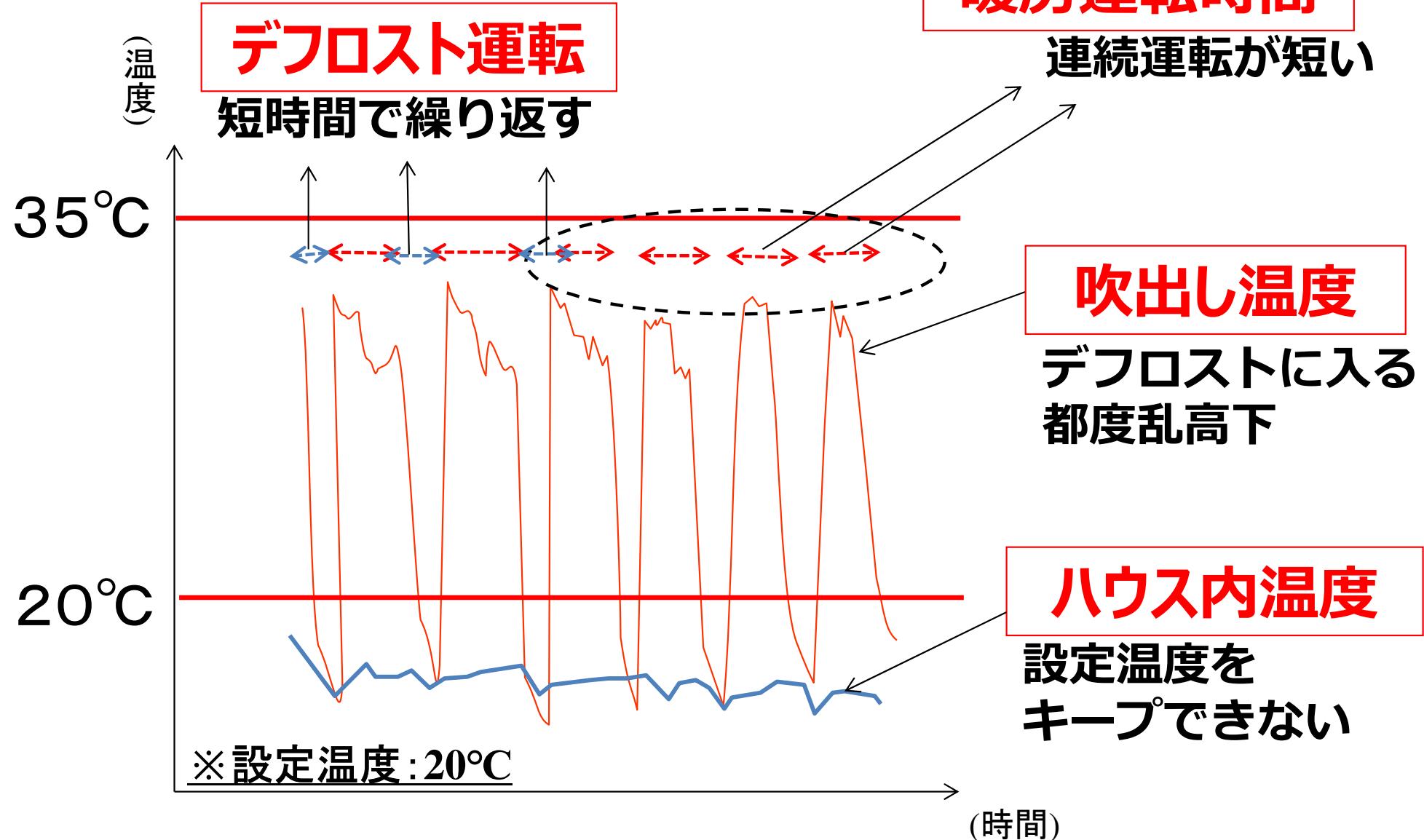
着霜した霜を
温風で溶かす



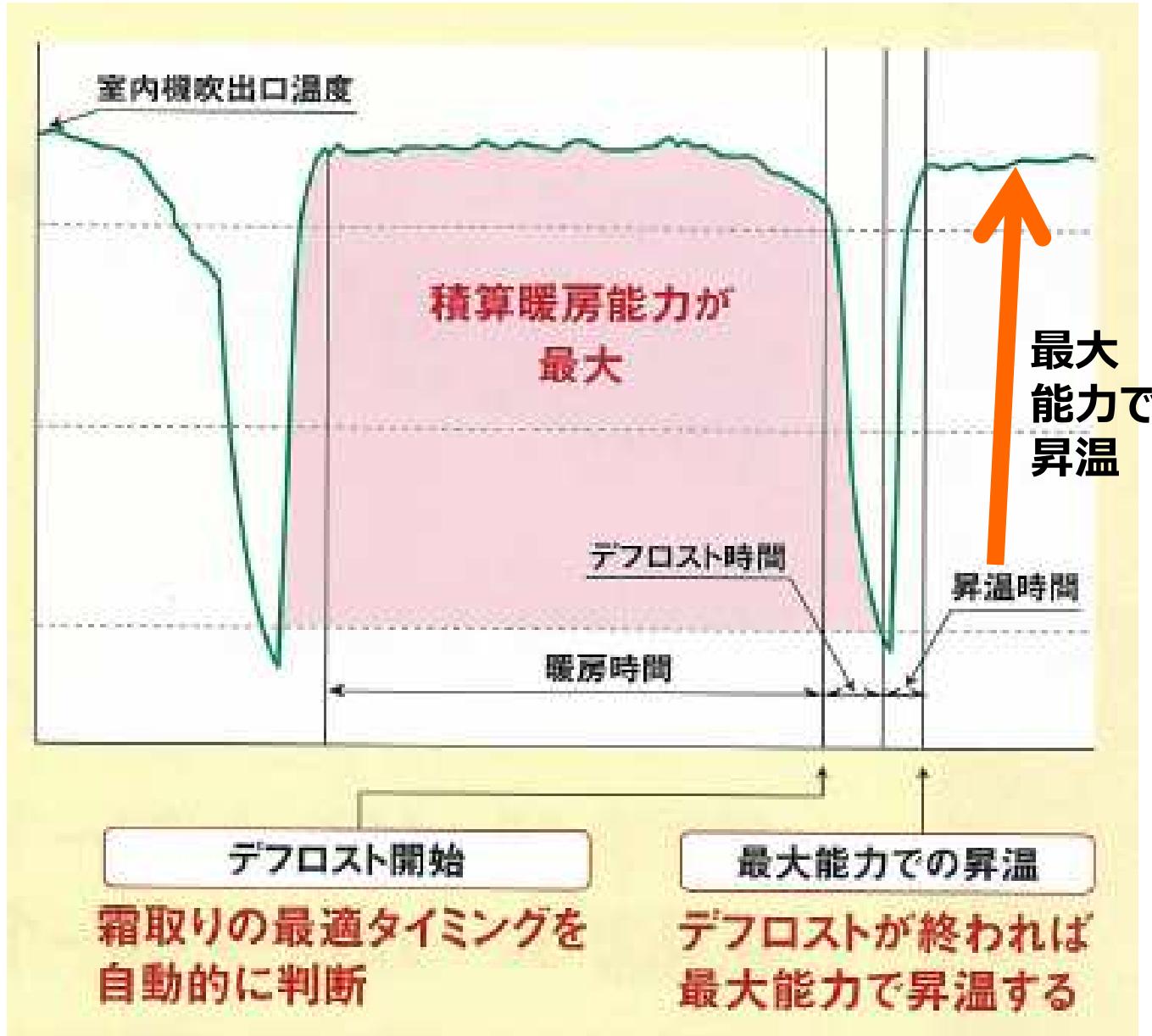
デフロスト終了 17



ハウス栽培に適さないヒートポンプ

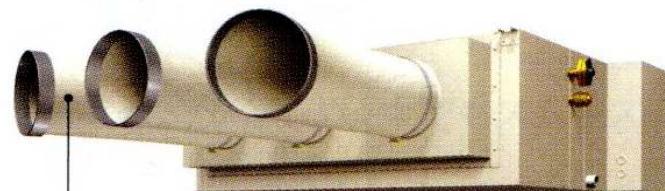


【ダイキン独自】インテリジェントデフロスト機能で ハウス内の設定温度をキープ



2) 天井吊りダクト型（3・5・8・10馬力）

- 1) 相対湿度 90 %迄使用が可能な高耐湿設計
- 2) 吹出自在ダクト（別売品）を用いて直吹出しで使用可能
- 3) 切替スイッチで高静圧、低静圧の変更が可能



吹出自在ダクト(別売品)

しいたけハウスなど
ハウス内でラックを組む
場合に好評



■ 設定可能温度

3馬力・5馬力

暖房：10～30℃

冷房：10～30℃

8馬力・10馬力

暖房：10～27℃

冷房：10～30℃

1. 長時間連続暖房運転ができる
2. デフロスト運転が短い
3. デフロスト運転終了後、急速暖房立上げができる
4. 低外気時の能力低下が少ない

ヒートポンプ導入目的はランニングコスト削減。
重油暖房機の稼動率を下げることが大前提。

- ・デフロスト対策ができているヒートポンプを使うことで、
ハウス内温度が安定。
- ・トータル光熱費の削減、栽培作物の品質担保の両立が可能

4. 施設園芸における導入事例

■佐賀県きゅうり農家／中山様ご採用事例

平成27年度農業電化推進コンクール大賞
(農林水産省生産局長賞)受賞

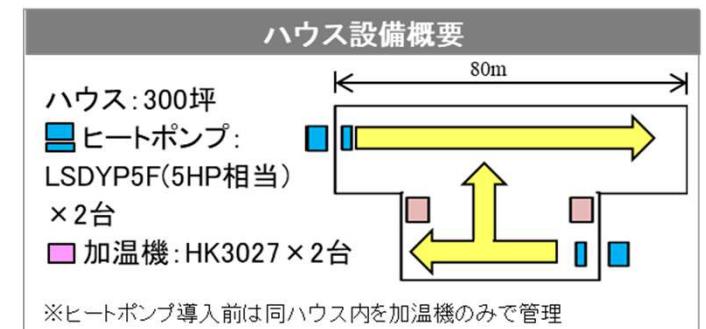
1. 冷房除湿運転で、安定収穫

9月末～10月の夜間の残暑でもヒートポンプなら冷房除湿で温度と湿度を下げることができ、殆どが生産量を落とす中、収量を確保、売価もアップ。また、植物の癌と呼ばれる「褐斑病」を抑えることもできました。



2. 暖房温度を上げても大幅コストダウン

ヒートポンプ導入後、設定温度を上げてもランニングコストを約40万円削減できました。また、風量が大きく発停も少ないため温度ムラも解消できました。



※ヒートポンプ導入前は同ハウス内を加温機のみで管理

導入事例① ヒートポンプ導入の定量評価



- ・10aハウスに5馬力×2台導入⇒燃油74%削減($9.8k\ell \Rightarrow 2.5k\ell$)
- ・暖房コストは約半分。収量は20%以上増加

【キーワード】：日中加温、夜間冷房、収量向上、ブランド化

経営の概要

- ▶ 中山氏は、平成23年に就農。加温ハウス（10a）と無加温ハウス（10a）の2棟のハウスできゅうりの周年栽培を行っている。
- ▶ 有機物の施用、太陽熱消毒などによる土づくり、天敵利用防除などに取り組み減農薬栽培を実施。

省エネ対策の概要

- ▶ 平成26年にヒートポンプ2台のほか、炭酸ガス発生機、環境測定装置を導入。環境測定装置での観測結果をもとに、ヒートポンプ、換気装置による細やかな温度管理を実施。
- ▶ 生育促進、収量向上を目指して、ヒートポンプを活用した冬季の日中加温、夏季の夜間冷房にも取り組み、省エネと収益性の向上の両立を図っている。



省エネの効果

- ▶ ヒートポンプの導入により10aあたりの燃油使用量は約74%削減 ($9.8k\ell \rightarrow 2.5k\ell$)。
- ▶ 電気使用量は増加したもの、暖房コストとしては約半分の55万円となり、CO₂排出量も約17.5tの削減と算定される。

営農改善の効果

- ▶ ヒートポンプ、炭酸ガス発生機等を組み合わせて温湿度、炭酸ガス濃度の管理を徹底することで収量は2割以上増加（約37t/10a）。
- ▶ 夏季の夜間冷房では、徒長防止や褐斑病発生抑制等の効果が確認され生育や品質向上にも結びついている。
- ▶ ヒートポンプによるコスト低減効果や增收効果はきゅうり部会内で共有化し、「伊万里きゅうり」のブランド化にも貢献。



出典：農水省「ヒートポンプの導入による営農改善事例(H29年)」より抜粋

夜間冷房使用前後に育成した葉の様子

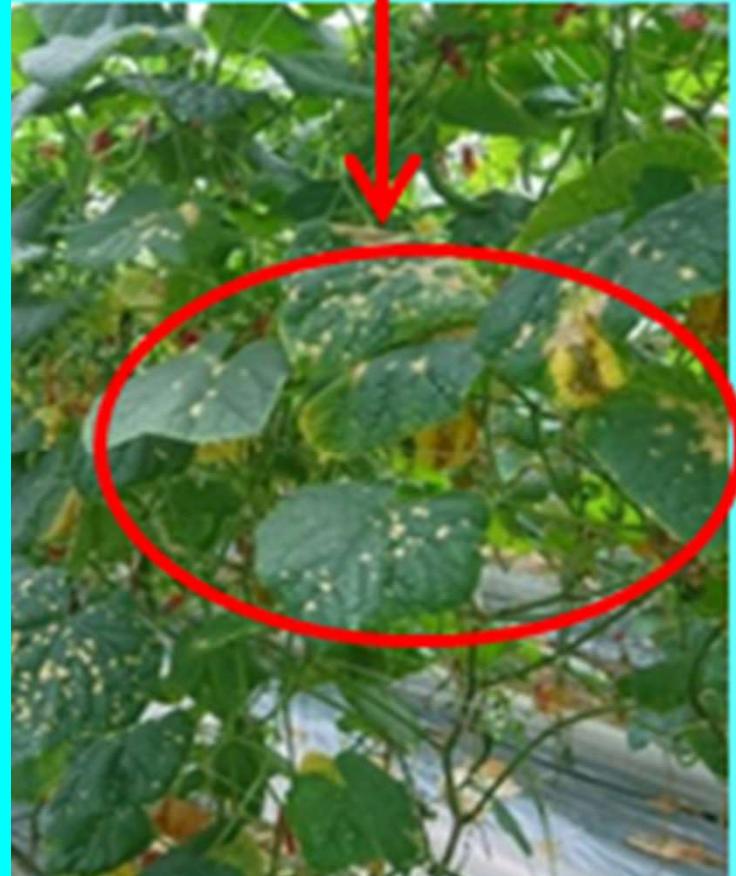
【使用後】

褐斑病の発生なし



【使用前】

褐斑病

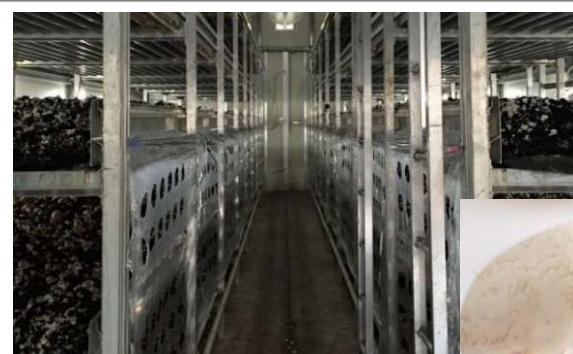
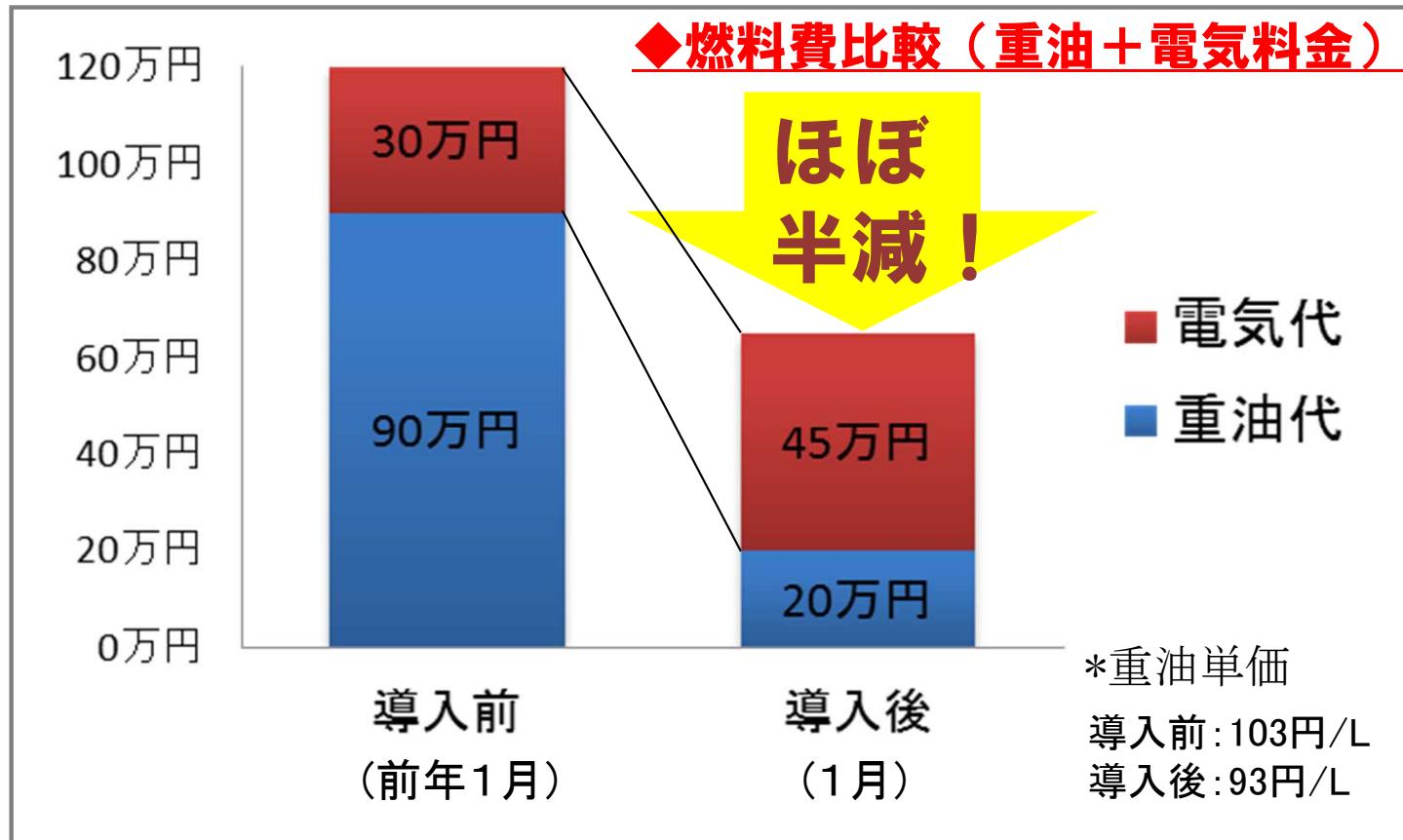


導入事例② マッシュルーム栽培での重油削減効果



■和歌山県「恋野マッシュルーム」様ご採用事例(導入前後の単月比較)

重油代+電気代 120万円⇒65万円 (46%削減)



システム概要

- 機種 中温ダクト形ヒートポンプエアコン
LSDYP10C (10馬力) × 10台
- *各ハウスに1台設置
- 温度 17°C設定

導入事例③ バラ栽培でのヒートポンプ活用事例



■三重県 藤原バラ園様ご採用事例

ハウス栽培専用工アコンに更新後、2月でも重油暖房機の稼働がほぼ0に

生産地 中継地 消費地

中温用エアコン栽培専用ヒートポンプエアコン

三重県 藤原バラ園 様

USER'S VOICE

更新前は、別メーカーのヒートポンプエアコンを使用していましたが、特に冷房運転時に思ったような能力が出ない点に不満を感じ、ダイキンの機器に入れ替えました。2月の納入後すぐ、まずは暖房で運転してみましたが、これまで補助暖房として使用していた重油暖房機を使用せずに済んだので、冬はかなり重油代が削減できそうだと期待しています。



栽培用ハウス横に設置されているダイキンのヒートポンプエアコン

PRODUCT



ハウス栽培専用ヒートポンプエアコン

▶P.061



iTM(インテリジェントタッチマネージャー)にて運転状態を確認



導入事例④ しいたけ栽培でのヒートポンプ活用事例



■石川県 石川県椎茸菌床センター様ご採用事例

温度管理が必須のしいたけ菌床ブロック保管に中温ダクト型をご採用

<概要>

機種：中温用エアコン

LSDYP10F × 2台

菌床培養室：約 173m²

肉厚で美味しいブランド椎茸「石川の香」の菌床を主に製造。培養室の温度管理にヒートポンプをご導入

ご評価いただいたポイント

- ・ 培養室の温度は17°C~18°Cをキープする必要があります。湿度も高いですが**安定した温度管理ができています。**
- ・ **リモコン操作も簡単。液晶部分も大きく見やすいです。**



導入事例⑤ トマト栽培でのヒートポンプ活用事例



■福岡県トマト農家／高井良農園様ご採用事例

オールヒートポンプ+遠隔監視サービス「アシスネット」をご採用

<概要>

機種：中温用エアコン

LSDYP5F × 3台

オールヒートポンプ（重油暖房機無し）

概要：約1000m²(55m×18m)、暖房11～15℃

「はなひめ」という品種の中玉トマトを栽培。

従来の温風暖房機に比べ温度管理が容易に。

遠隔監視システム「アシスネット」も同時納入

ご評価いただいたポイント

- 以前は場所によってハウス内に温度差がありました。寒波の日も問題なくハウス内温度を保てました。
- 故障時の作物への影響は不安でしたが採用したアシスネットのおかげで、現場に行く前に異常が分かるので安心です。



アシス
ネット
端末⇒



安心のアシスネットサービス
室外機にIoT端末を取り付け
エアコンを遠隔管理！

IoT遠隔監視サービス「アシスネットサービス」



室外機にIoT端末を取り付け、万一の不具合を監視～メールにてお知らせ。

こんなお困りごとありませんか？

農業 急な故障に気づかず作物に影響がでたら困る

遠隔地に点在する機器のチェックも大変だな…

食品工場 広い敷地内にある機器のチェックは時間がかかる

すべての機器を点検するのは大変だな…

冷凍冷蔵倉庫 休業日で故障に気づかず物損がでたら困る

出勤した時にはもう遅かった…

アシスネットサービスなら
無人・遠隔・多拠点での異常発生をメールでお知らせ！

農業 **食品工場** **冷凍冷蔵倉庫**

法律で定められた3ヶ月に1回の簡易点検を忘れてしまいそう

次の点検はいつだったかな…

点検に時間がかかると嫌だな…

アシスネットサービスなら
簡易点検の時期をメールでお知らせ！

点検はアプリに沿ってチェックするだけ※2

**アシスネットサービスで
お悩み解決！**

ダイキンのIoT技術で空調管理を簡単に

室外機にIoT端末を取り付けるだけで、フロン排出抑制法の対応を含め、お客様の空調機管理を遠隔でサポートします。

点検や修理記録もサーバーで一括管理

IoT端末 → インターネット → メールでお知らせ → お客様

簡単チェックが可能

- ・パソコン
- ・スマートフォン
- ・タブレット

費用は室外機 1台あたり400円/月

* 対象機種など詳細はカタログ参照

ASSISNET SERVICE

1台から対応 & スピード設置

IoT端末

ヒートポンプは「リース」でも導入できます



■ダイキン独自の「農業事業者様向け安心保証リース」をご活用ください

農業事業者様向け安心保証リースのメリット

- ・リース期間内は修理費無償
(期間中の複数回故障にも対応)
- ・動産保険付き
(風水害、落雷、火災、雪害、盗難などの偶発的事故による損害を補償)
- ・まとめた購入資金は不要
(支払いは月々払いもしくは年2回払いをご選択)

● 7年リースの契約金額とお支払金額（抜粋）

契約金額 200万円 月々支払い 34,000円

契約金額 300万円 月々支払い 51,000円

契約金額 400万円 月々支払い 68,000円

The brochure is titled "DAIKIN 安心保証リース" (DAIKIN Anshin Kosei Lease). It features a green header "農業事業者向け" (For Agricultural Business Operators) and a green footer "修理保証付" (With Maintenance Guarantee). The main text highlights "リース期間内は修理費無償" (Maintenance fees are free during the lease period) and "リース料は月々払いもしくは年2回払い" (Lease payment is monthly or bi-annually). It includes a diagram showing the process from "お見積り" (Quotation) to "リース会社" (Lease Company) and "販売店" (Sales Shop). A table shows lease rates for 4, 5, 6, and 7 years. A detailed table at the bottom provides a breakdown of lease costs for various payment methods (monthly vs. bi-annual) and lease terms.

リース期間	4年	5年	6年	7年
リース料率	2.57%	2.15%	1.87%	1.66%

対象商品
ハウス栽培専用ヒートポンプエアコン
中温用エアコン
FIVE STAR ZEAS
Eco-ZEAS

詳細はご販売店様あるいは営業担当までご相談ください

○エアコンで暖房しても温まらないのでは？

→既設の重油ボイラーはそのままでヒートポンプを追加で納入するハイブリッド使用が基本です。適正な台数を導入すればヒートポンプでもボイラー同様に温まります。既に全国の加温ハウスの約 6 % (全メーカー合算) で使われています。

○電気代も上がってるから光熱費削減にならないのでは？

→電気代上昇分だけ削減効果は目減りしますが、現状でも重油価格対比の暖房ランニングコストは安くなります。また電気代値上げは国への申請事項ですので、重油価格変動よりは安定しているといえます。

○ご使用中のハウスに適した機種・台数・工事費用を知りたい

⇒ハウスの形状、要求温度をご指示いただけたら最適台数の試算が可能です。工事費用（電気工事を含む）については現地調査の上お見積りをさせていただけます。

○導入費用がかなりかかると思うのですが・・・

⇒初期費用が不要な安心保証リースでの導入が可能です。

リース期間中の修理費が無償でかつ動産保険が付帯していますので、風水害・落雷、雪害、盗難等偶発的な事故による損害も補償されます。月々もしくは年2回払いが選択可能です。

○ヒートポンプのメンテナンスは何が必要ですか？

⇒室内機のフィルターの清掃のみ必要です。（屋内で使用するエアコンと同じです。）室外機はメンテフリーです。

○真夏の日中に冷房運転してハウス内を冷やすことはできますか？

⇒夏の日中のハウスは暑すぎて十分な温度に冷やすことはできません。夏でも夜間であれば外気温度より3℃程度温度を下げるることは可能です。

品目にもありますが、バラ等の花卉栽培では中間期～夜に冷房することで品質の安定化、除湿効果による病害の低減を図っている農家様も多数いらっしゃいます。

○ハウス内の温度は均一になりますか？

⇒エアコンを追加することでハウス内の気流分布は改善されます。
但し温度ムラは必ず発生しますので、**ヒートポンプ使用有無に**
関わらず循環扇の併用をお勧めします。

○今使用している環境制御盤でヒートポンプの運転管理は可能？

⇒**基本ご使用の制御盤からのON／OFF制御は可能です。**

(現地下見時にチェックさせていただきます。)

但し制御盤からの温度設定はできません。**ヒートポンプの**
リモコンで設定ください。

○耐用年数はどの位ですか？

⇒ご使用環境によって一律ではありませんが、**10年～13年**
程度が目安とお考えください。

(湿度が高いこと、外気の影響を受けやすいことから、一般的な
業務用途のエアコン13年～15年より若干短いと想定。)

5. 光熱費試算

ハウス栽培用エアコン提案書を活用ください

 DAIKIN

弊社ソフトにて最適な機種選定～光熱費試算が可能です
具体的な検討が必要な場合は、ぜひダイキンへご相談ください

6. サービス体制

“業務用空調ナンバーワン”のダイキンは修理ネットワークも万全。
納入後のアフターサービスも迅速に対応（全国60拠点で対応）

- ・ 24時間365日
年中無休で受付対応
(Tel : 0120-88-1081)
*即時訪問をお約束する
わけではございません
- ・ 全国60か所の
サービス拠点から
迅速に訪問します
- ・ パーツセンターは
全国5か所に配備
(東京、仙台、札幌
大阪、福岡)

サービスネットワーク

お客様総合窓口

ダイキンコンタクトセンター

ダイキンコンタクトセンター（お客様総合窓口）

0120-88-1081(全国共通フリーダイヤル)
FAXでのお問合せは 0120-07-0881 (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincoo.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間:24時間365日対応致します
対応業務:空調機に関するすべてのご相談、お問合せをお受けいたします。
(空調機の修理・メンテナンス・取扱い、構造選定および別売品・消耗品・精用部品の販売など)

お住まいの地域を
クリックしてください。

北海道・東北地区

中国・四国地区

近畿・北陸地区

東海地区

関東・甲信越地区

九州・沖縄地区

ダイキン工業サービス拠点所在地一覧

SS:サービスステーション CC:コンタクトセンター PC:パーツセンター



ありがとうございました